



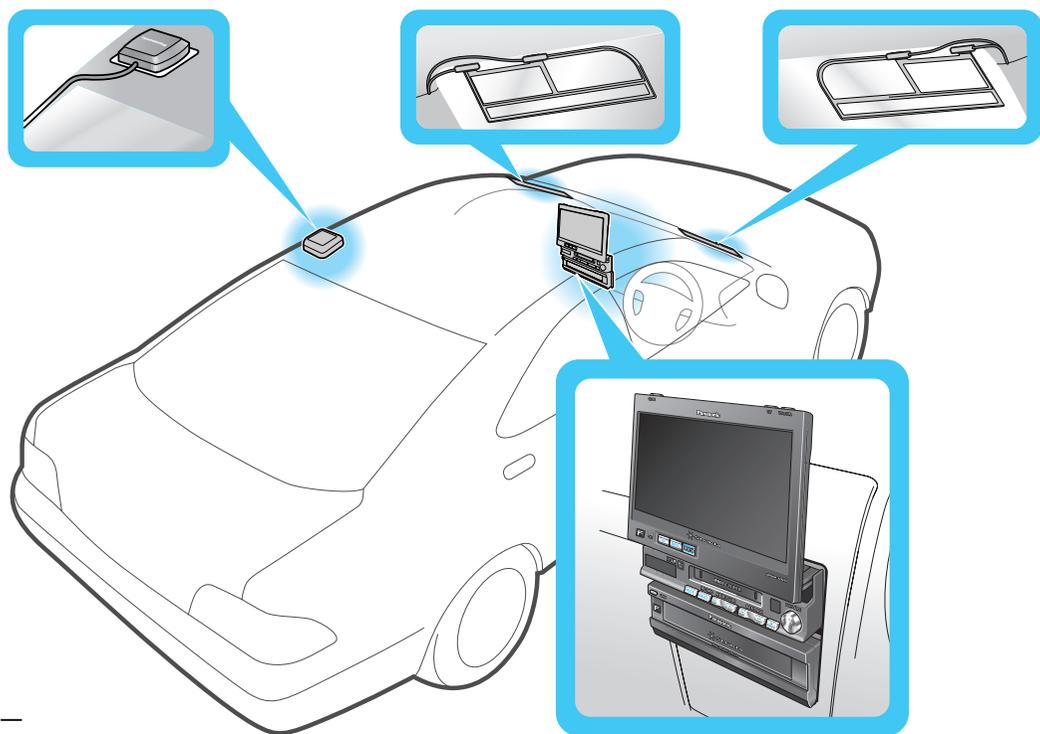
Panasonic®

## 取付説明書

設置と接続

7V型ワイドVGAインダッシュTV/MD AVシステム  
DVD/CD内蔵HDDカーナビステーション

品番 **CN-HDS955MD**



—取付例—

**取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6~11ページ)を必ずお読みください。**

### お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

### 販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

この説明書は再生紙を使用しています。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

## 内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
ナビゲーション本体関係		
①	ナビゲーション本体	1
②	ベース金具	2
③	L型金具	2
④	サイドパネル左右	各1
⑤	粘着テープ (35 mm×80mm)	2
⑥	座付きねじ (M5×6 mm)	2
⑦	座付きタッピンねじ (φ6×20 mm)	4
⑧	座付き六角ナット (M5)	4
⑨	皿ねじ (M5×6 mm)	4
⑩	スペーサー/両面テープ	各2
GPSアンテナ関係		
⑪	GPSアンテナ (コード6 m)	1
⑫	防水ゴム (GPSアンテナコード用)	1
⑬	金属シート(車内取付用)	1
⑭	保護シート(車外取付用)	1
⑮	コードクランパー	5
リモコン関係※		
⑯	リモコン	1
⑰	単3形乾電池	2
⑱	リモコンホルダー	1
⑲	両面テープ (20 mm×50 mm)	1
ボイスコントロールマイク関係		
⑳	ボイスコントロールマイク (コード6 m)	1
㉑	コードクランパー	5
モニター関係		
㉒	インダッシュモニター	1
㉓	座付きねじ (M5×6 mm)	2
㉔	皿ねじ (M5×6 mm)	4
㉕	座付きねじ (M4×3 mm)	4
㉖	スペーサー/両面テープ	各2

番号	品名	数量
コード関係		
㉗	電源コード (ナビゲーション本体用)	1
㉘	車速信号中継コード (桃色: 1.5 m)	1
㉙	電源コード (インダッシュモニター用)	1
㉚	RGBコード (45 cm)	1
㉛	音声コード (45 cm)	1
㉜	圧着式コネクター	4
㉝	ビーコンプラグ保護カバー	1
TV・FM多重アンテナ関係		
㉞	TV・FM多重アンテナ左右	各1
㉟	TV・FM多重アンテナコード左右 (4.2 m)	各1
㊱	アーステープ	2
㊲	コードクランパー	10
㊳	作業用ヘラ	1

### その他の付属品

品名	数量
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1
クリーナー (TV・FM多重アンテナ用)	1

### 主な添付品

品名	数量
基本操作ガイド	1
取扱説明書	1
取付説明書	1
仮保証書兼ユーザー登録ハガキ	1
取付ゲージ	1
デジタルチューナーとの接続について	1

※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書をご覧ください。

## 取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(裏面) また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(裏面)

## 作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。
  - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みの上、配線してください。
  - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様ご相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

FAX 045-938-1573

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

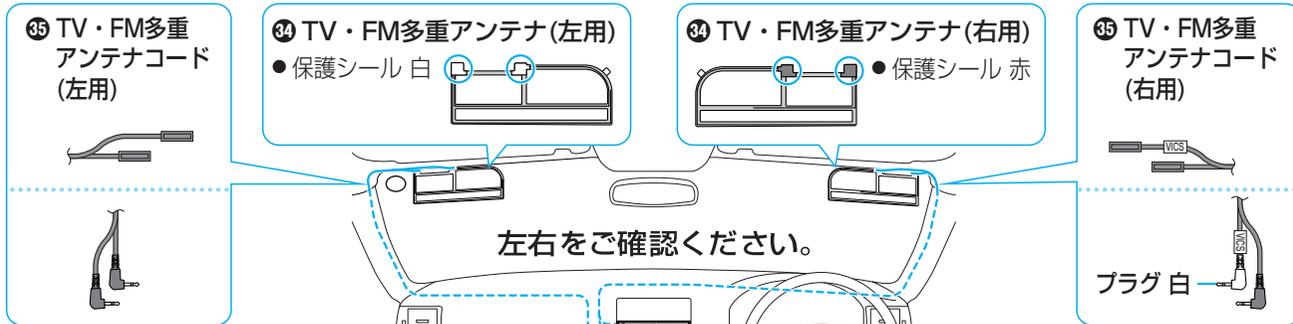
© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YEFM294015A F0505-1075

# TV・FM多重アンテナの取り付けかた

## 取り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり取り付けてください。
- 車種によって、取り付けでも性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを取り付ける位置(左右の位置)をご確認ください。(貼りなおせません) 付属のクリーナー(TV・FM多重アンテナ用)で、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。



<車内から見た図>

右用のアンテナの取り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に取り付けてください。

## 1 フロントウインドウにアンテナを貼り付ける

- 折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。

① 霧吹きなどで、車内側のガラス面に均一にせっけん水を吹き付ける。

● 水500 cclに対して中性洗剤1~2滴が適量です。

② アンテナの裏紙をはがし、ガラス面に貼り付ける。

黄色い部分を持って裏紙をはがす。

給電部の保護シールはまだはがさない。

のり面は汚さないでください。

③ 作業用ヘラでアンテナの気泡を取り除いて、密着させる。

● アンテナ周辺のせっけん水を拭き取り、十分に乾燥させてください。(2~3時間放置する。)

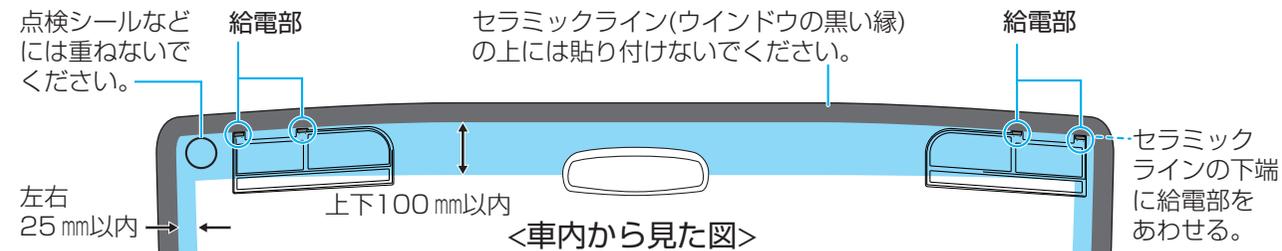
③⑧ 作業用ヘラ

## ■ 取付許容範囲 (部) について

国土交通省の定める保安基準※に適合するように、アンテナの給電部は、取付許容範囲内に取り付けてください。

- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに取り付けてください。(左右逆に貼らないでください。)

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



## 2 アンテナコードを取り付ける

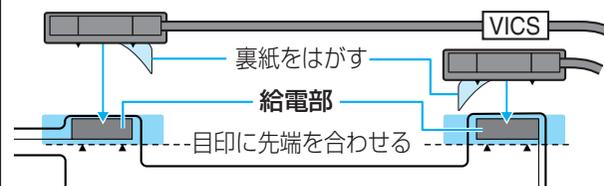
① 車の内張り(ピラーのカバー)を取りはずす。

② アンテナ給電部の保護シールをはがす。



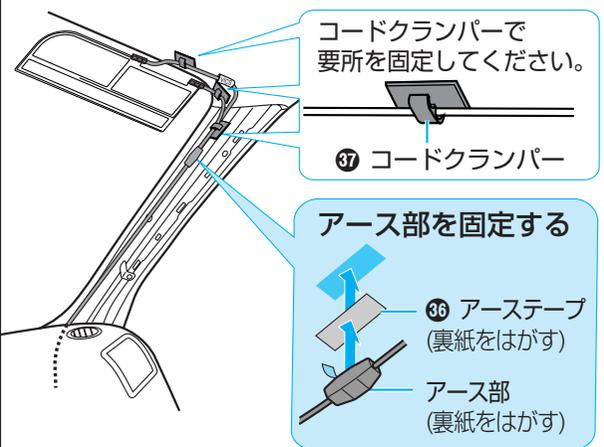
③ アンテナコードの端子を給電部に貼る。

- コードの左右を必ずご確認ください。また、[VICS]タグ付きのコードを貼る位置をご確認ください。(タグのあるものが右用です)



④ アース部をピラーの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。



- 必ず、アース部の下にアーステープで貼り付けてください。受信感度が低下する原因になります。
- 配線後、カバーをもとに戻してください。

⑤ アンテナコードをナビゲーション本体に接続する。(裏面)

- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

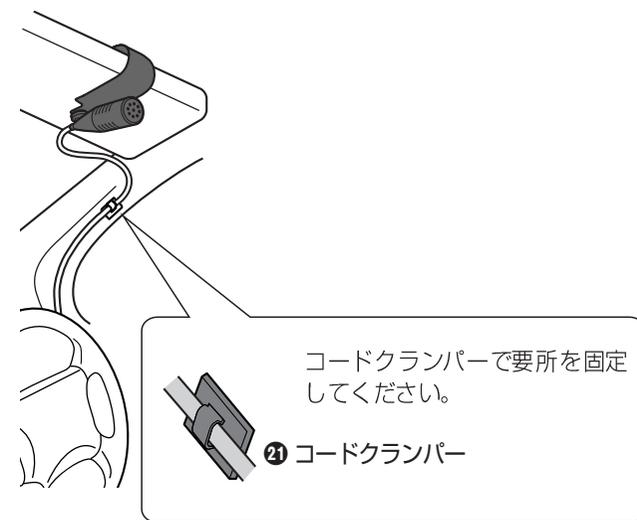
# ボイスコントロールマイクの取り付けかた

- 認識率がよくなるように、サンバイザーの中央または右端(左ハンドル車は左端)に取り付けてください。
- 発声する人から20 cm~40 cm離してください。マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。

1 車のサンバイザーにマイクを取り付ける。



2 コードを引き回す。

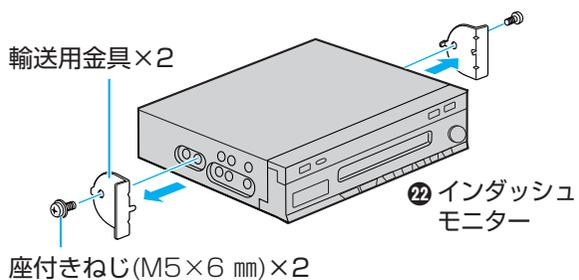


## お願い

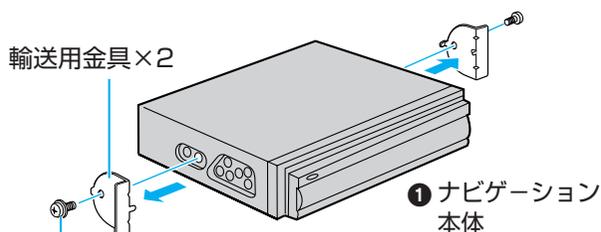
- 必ず、付属のマイクを使用してください。
- ノイズを避けるため、他のコードとは離してください。

# ナビゲーション本体・インダッシュモニターの取り付けかた

**準備** ●ナビゲーション本体・インダッシュモニターともに、輸送用金具をはずしてください。



座付きねじ(M5×6 mm)×2

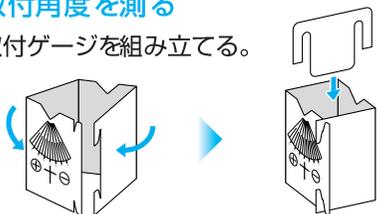


座付きねじ(M5×6 mm)×2

取りはずした座付きねじ(各2本)は、ナビゲーション本体およびインダッシュモニターの取り付けに使用することができます。

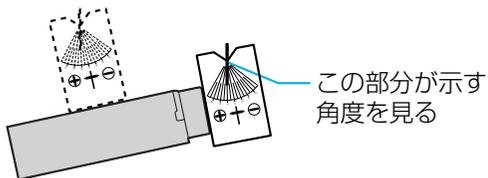
## ■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で取付ゲージをナビゲーション本体の前面に図のようにあて、本体の取付角度を測る。

- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。

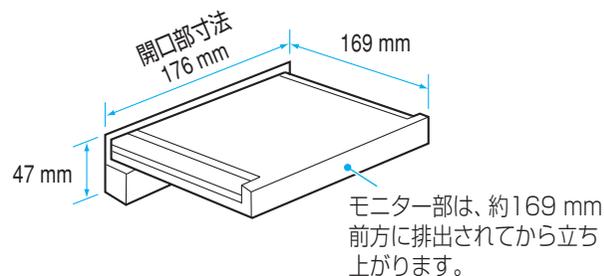


③ 本体取付角度を設定する。(裏面)

## お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーション本体を取りはずし、再度取り付ける際にも取付角度設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

## 取り付け部の寸法・角度の確認



オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店にご相談ください。  
 DINサイズ (横180 mm×縦50 mm)  
 2DINサイズ (横180 mm×縦100 mm)

使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

- トヨタ車 (DINサイズ採用車)**  
純正カーオーディオを固定していたブラケットをご使用ください。
- 日産・本田・マツダ車 (DINサイズ採用車)**  
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。
- 上記メーカー以外の車**  
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

## お願い

- 水平に対して、30°以下の角度で取り付けてください。取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。30°を超える場合は、床やトランクなどに取り付けてください。
- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。画像が乱れる原因となります。

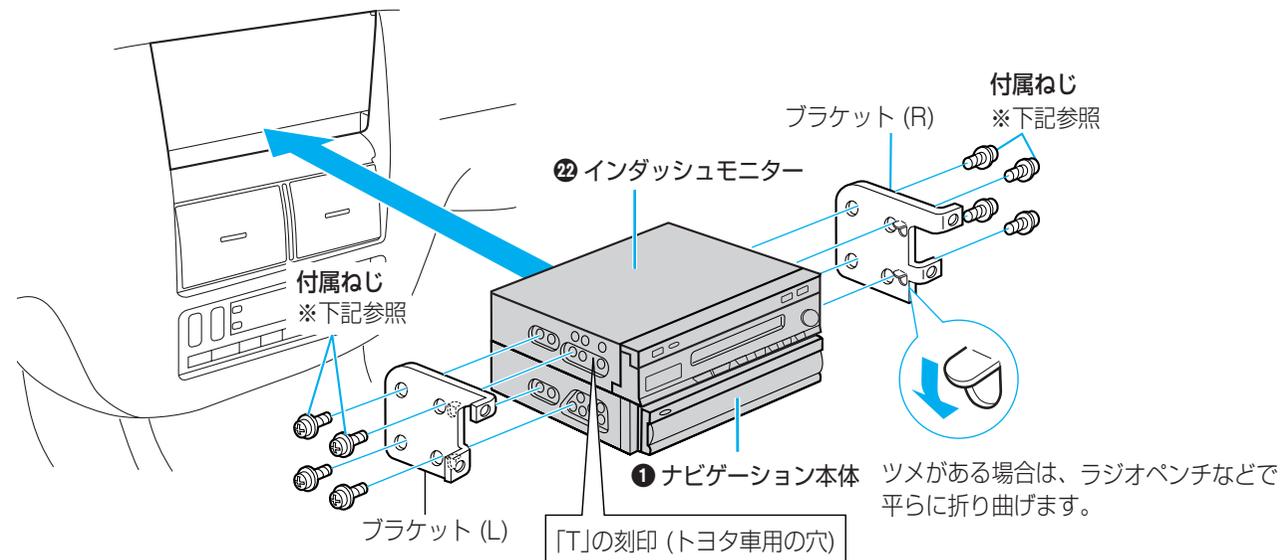
## お知らせ

- 年式、車種、グレードにより、専用キット(別売)が必要な場合がありますので、販売店にご相談ください。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)がありますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボードの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

## 取付例 2DINサイズ採用車

必ずインダッシュモニターを上側、ナビゲーション本体を下側に取り付けてください。

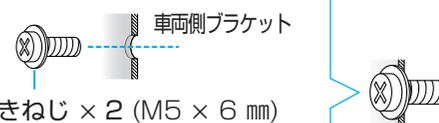
(インダッシュモニターを下側にすると、モニターが立ち上がったときにナビゲーション本体の前面をふさいでしまいます。)



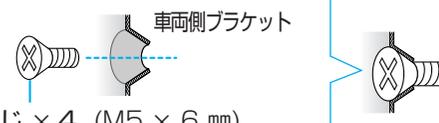
## お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- センターコンソールに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因になります。

付属のねじは、取り付け金具(ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。

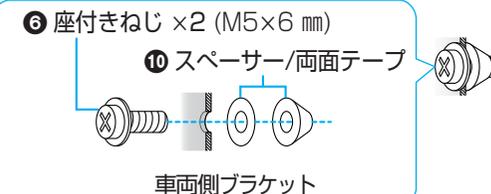


6 座付きねじ × 2 (M5 × 6 mm)  
残りの2本は、輸送用金具を固定していたねじを使用してください。

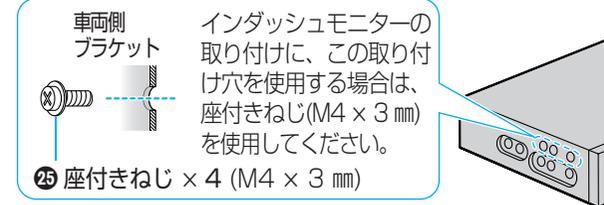


9 皿ねじ × 4 (M5 × 6 mm)

ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



6 座付きねじ × 2 (M5 × 6 mm)  
10 スペーサー/両面テープ  
車両側ブラケット



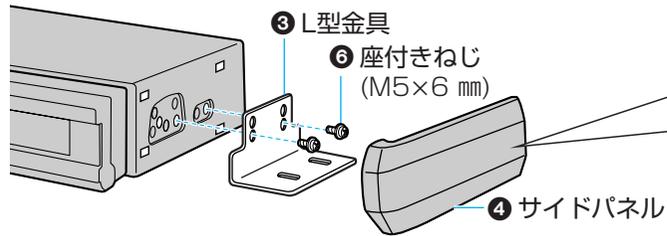
車両側ブラケット  
25 座付きねじ × 4 (M4 × 3 mm)  
インダッシュモニターの取り付けに、この取り付け穴を使用する場合は、座付きねじ(M4 × 3 mm)を使用してください。

## ナビゲーション本体をトランクや床に取り付ける場合は

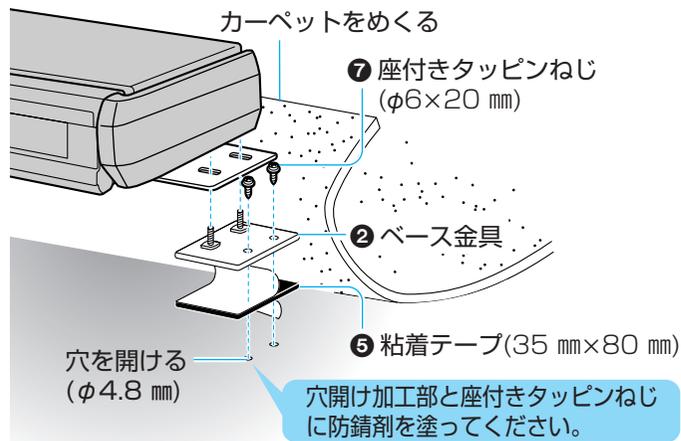
トランクや床に取り付ける場合、付属のコードではインダッシュモニターとナビゲーション本体を接続できません。別売のコード[CA-LHD60DA(6 m)/CA-LHD30D(3 m)/CA-LHD10D(1 m)]を使用してください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 1 L型金具をしっかりと取り付ける。

※ 反対側も同様に取り付けてください。



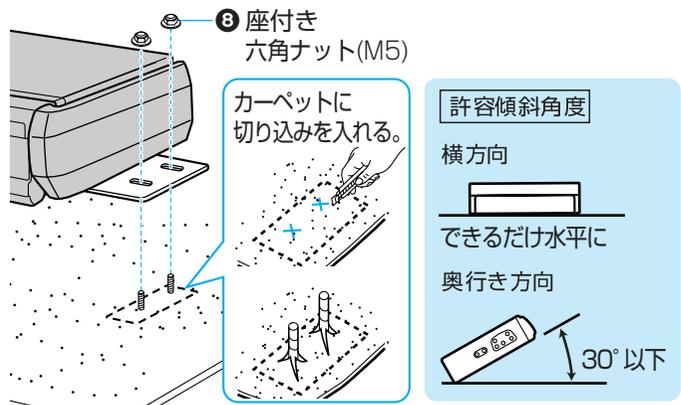
### 2 ベース金具を床の上にしっかりと取り付ける。



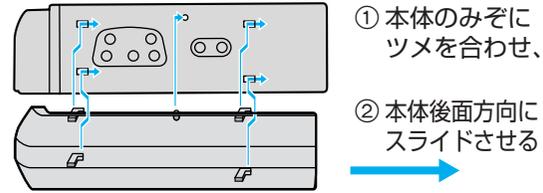
### 3 カーナビ本体をベース金具にしっかりと取り付ける。

ナビゲーション本体の傾きを許容傾斜角度(下記参照)になるように調整し、固定する。

※取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

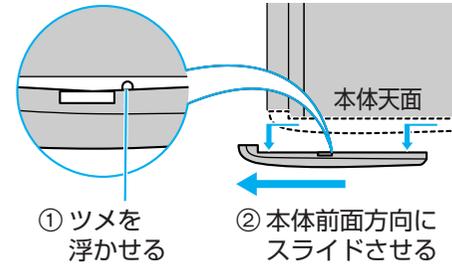


### サイドパネルの取り付けかた



● コンソールボックス以外の場所に取り付けるときは、ゴミ、ほこりなどが入らないように、必ずサイドパネルを取り付けてください。

### サイドパネルの取りはずしかた



#### お願い

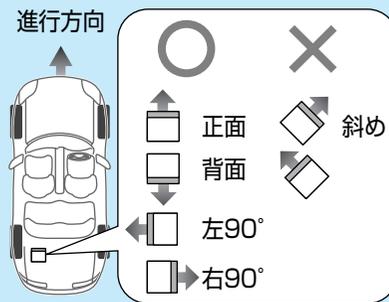
● 以下のところには、取り付けしないでください。故障の原因になります。

- ・水のかかるところ
- ・足で踏まれるところ
- ・ほこりの多いところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く

● 連続して使用すると、ナビゲーション本体が温かくなりますので、まわりに物などを置かないでください。

● トランク、車室内の床やコンソールボックス内など、しっかりした場所に付属の金具を使用して、しっかりと車両に固定してください。誤動作、故障の原因になります。

● なるべく水平になるように取り付け、進行方向に対し、直角または平行の向きで取り付けてください。(※下図)



## GPSアンテナの取り付けかた

### 取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

### 車外に取り付ける(推奨)

ルーフの平らな面に取り付けてください。



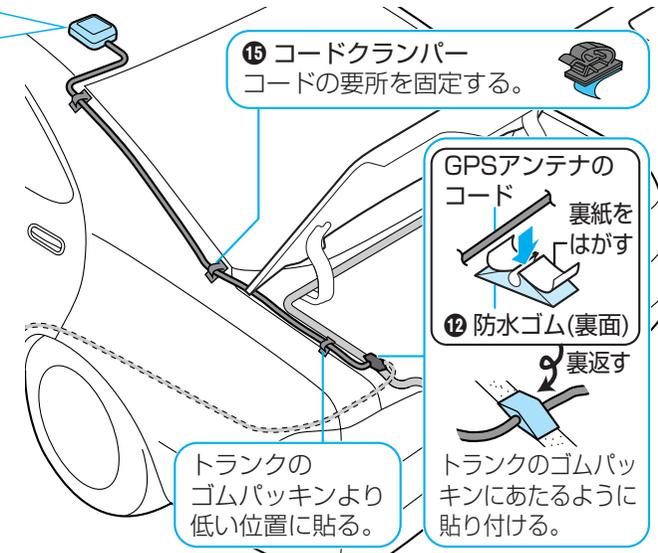
※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

#### お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。

トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。



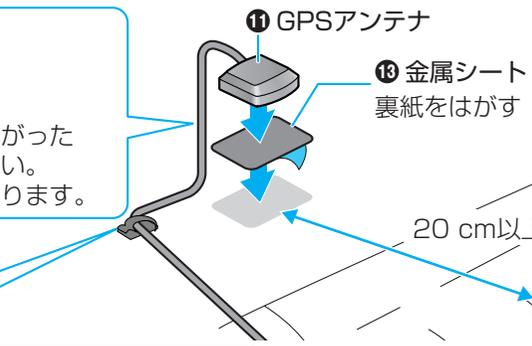
### ダッシュボードやリアトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。



コードをドライバーなど先のとがったもので押しつけないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

⑮ コードクランパー  
要所を固定する。



#### お知らせ

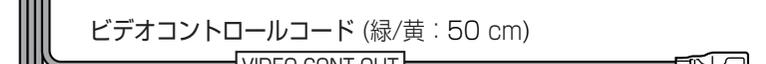
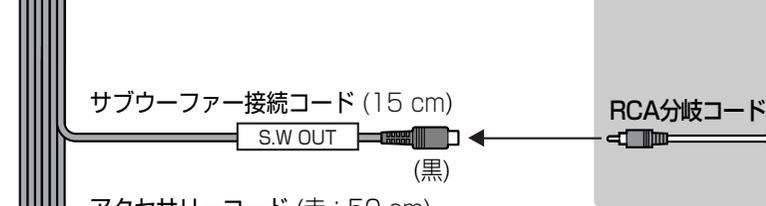
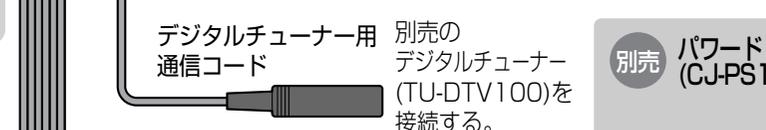
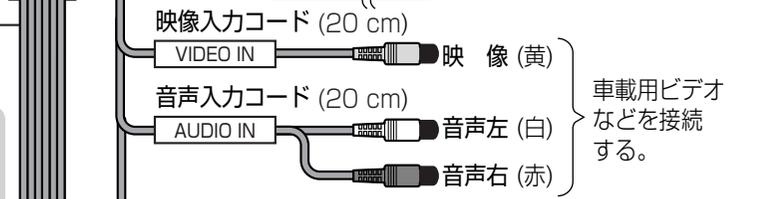
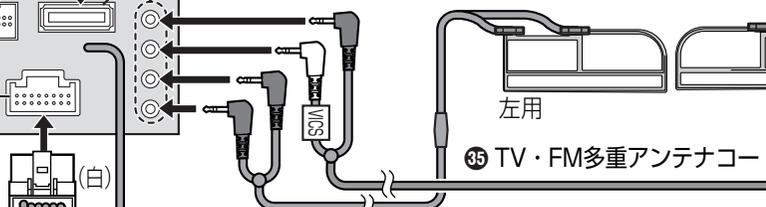
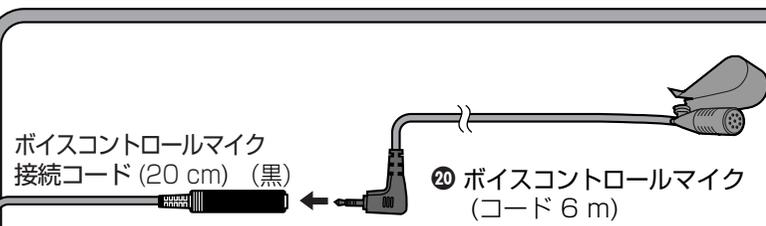
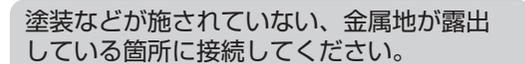
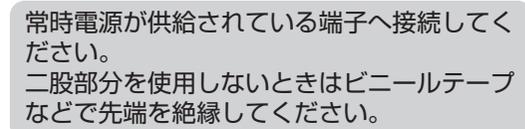
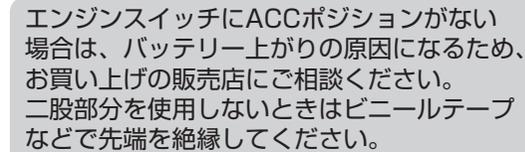
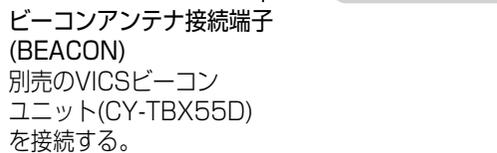
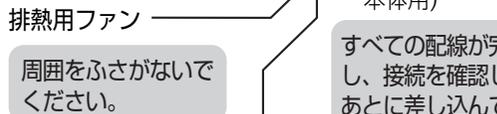
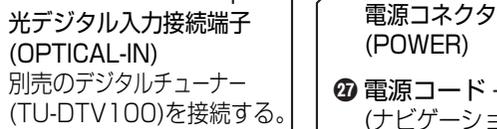
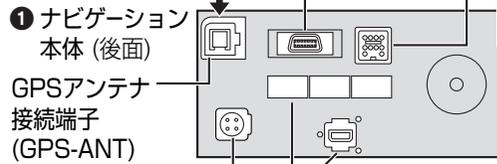
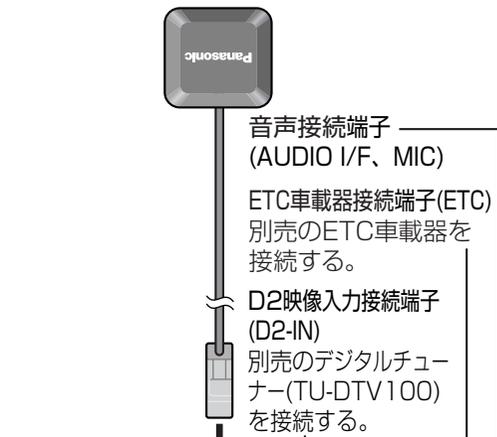
- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のウィンドウガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(※取扱説明書)にご相談ください。

#### お願い

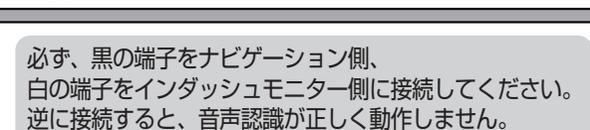
- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

# 配線のしかた

① GPSアンテナ (コード 6 m)



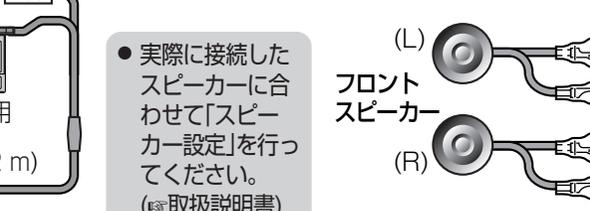
③ 音声コード (45 cm)



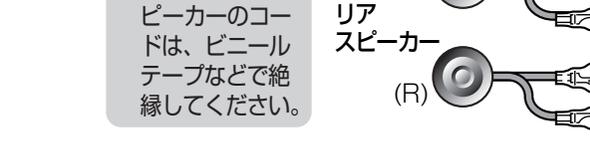
④ RGBコード (45 cm)



⑤ インダッシュモニター(後面)



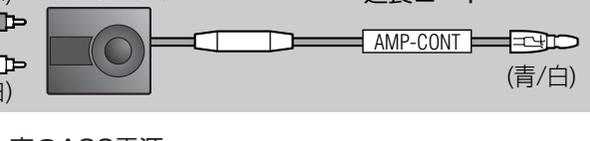
⑥ 電源コード(インダッシュモニター用)



⑦ スピーカーコード(フロント左)



⑧ スピーカーコード(フロント右)



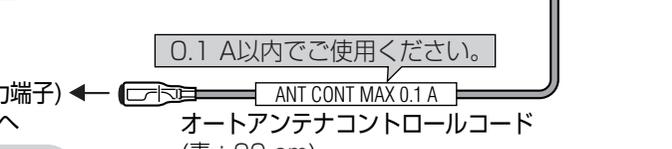
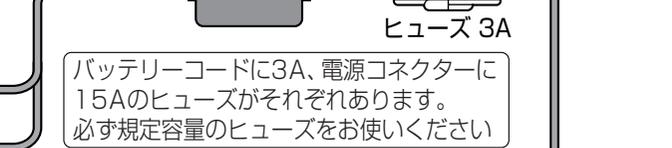
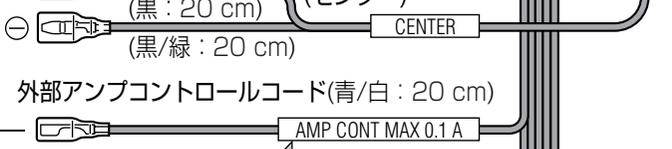
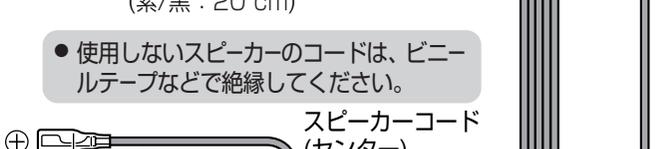
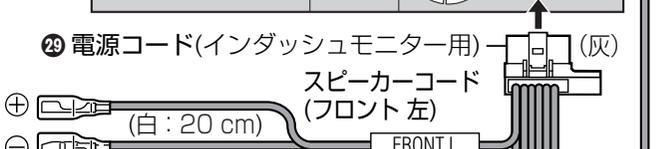
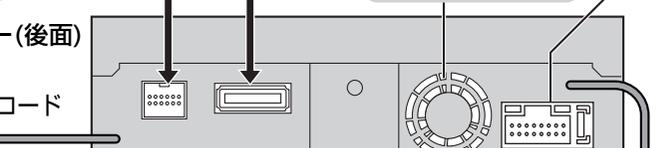
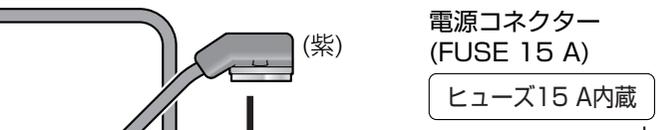
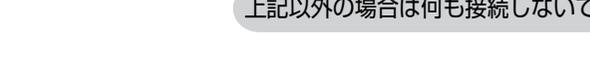
⑨ スピーカーコード(リア左)



⑩ スピーカーコード(リア右)



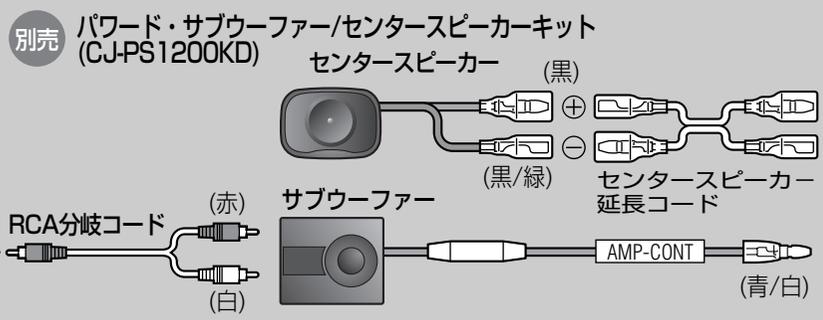
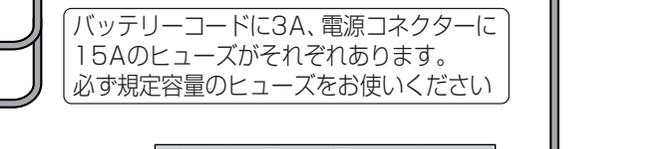
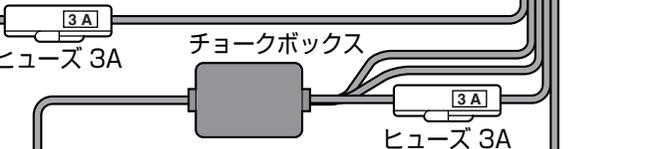
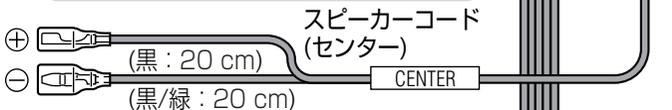
⑪ スピーカーコード(センター)



● 実際に接続したスピーカーに合わせて「スピーカー設定」を行ってください。(※取扱説明書)

● 使用しないスピーカーのコードは、ビニールテープなどで絶縁してください。

● 使用しないスピーカーのコードは、ビニールテープなどで絶縁してください。

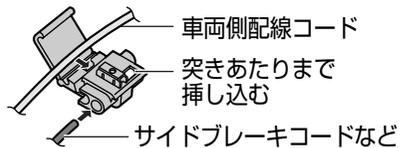


塗装などが施されていない、金属地が露出している箇所に接続してください。

車のオートアンテナコントロールコード(入力端子)またはアンテナブースターの電源入力端子へ  
上記以外の場合は何も接続しないでください。



## ■圧着式コネクターの取り付けかた

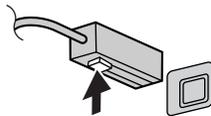


## ■ロック付きコードの取りはずしかた

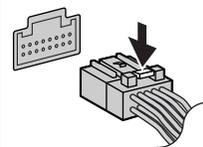
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

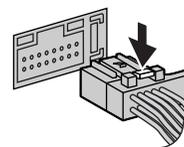
### 11 GPSアンテナのコード



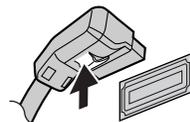
### 27 電源コード (ナビゲーション本体用)



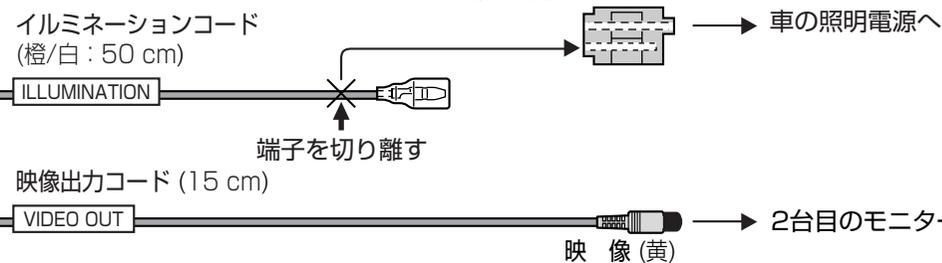
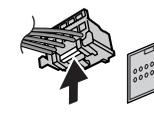
### 29 電源コード (インダッシュモニター用)



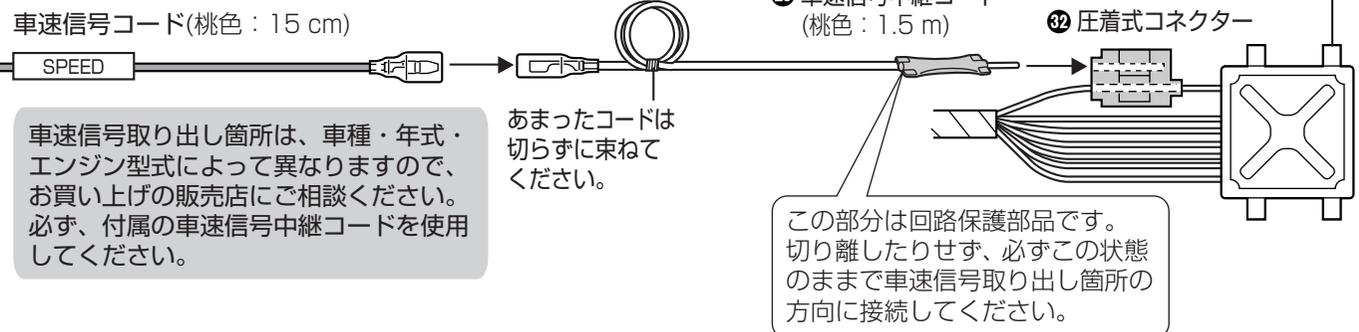
### 30 RGBコード



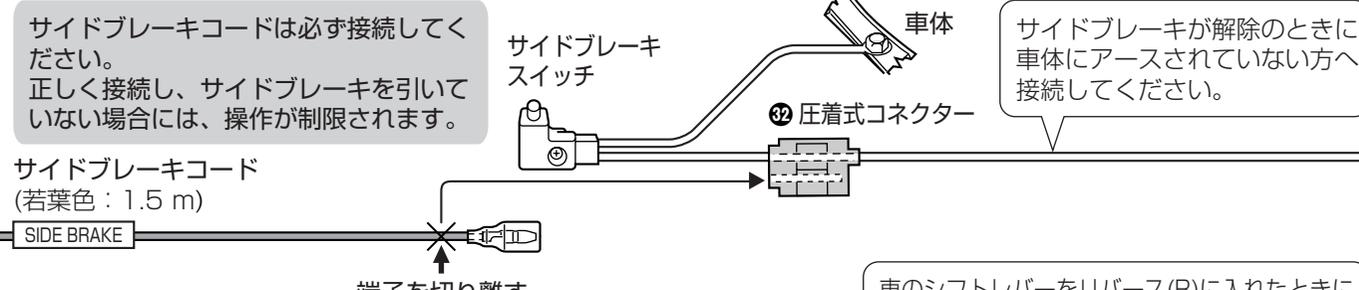
### 31 音声コード



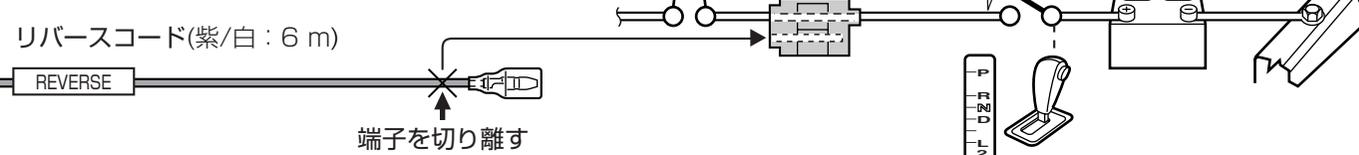
## 車速信号コードを接続する



## サイドブレーキコードを接続する



## リバースコードを接続する



### お願い

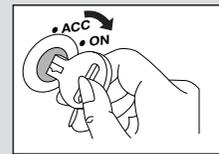
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクリンパーや市販のテープなどで固定してください。
- ETC車載器接続端子に、モバイルコミュニケーションユニットやマルチメディアハブなどは接続しないでください。接続しても動作しません。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。

## 取り付け・配線の確認

### 1 電源を入れる

1 車のエンジンをかける。またはACCに入れる。

- ナビゲーション本体の電源が入ります。



2 CLOSE を押して、モニターを立ち上げる。



- オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。
- オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

3 注意事項を確認して、確認 にタッチする。



4 見通しの良い場所で、GPS信号 (GPS) を受信していることを確認する。



- GPSマークが表示されないとときや点滅が継続するときは、受信状態をご確認ください。(取扱説明書)

本機を正しく動作させるため、下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

## ② 取付角度設定・車両信号情報・拡張ユニット情報の確認をする

1 **MENU** を押す。



- メニュー画面 **行き先** が表示されます。

2 **情報・設定** にタッチする。

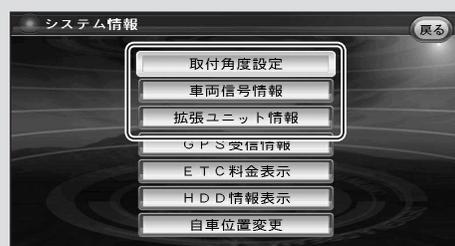


- メニュー画面 **情報・設定** が表示されます。

3 **システム情報** にタッチする。



4 **取付角度設定** / **車両信号情報** / **拡張ユニット情報** にタッチする。



5 ● **取付角度設定** を設定する。



取り付け角度を設定し、**決定** にタッチする。  
調整範囲：-30° ~ +30° (5° ステップ)

ナビゲーション本体を取り付けた向きに応じて、下記の範囲で設定してください。

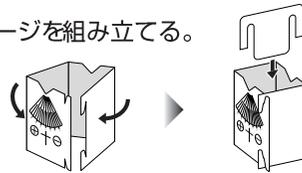


### お願い

- SALAS による、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。(お買い上げ時は、「未設定」となっています。)

### ■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で、ナビゲーション本体に取付ゲージを下図のようであて、本体の取付角度を測る。

- ナビゲーション本体の向きに関わらず、**+**マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。



### お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。

● **車両信号情報** を確認する。



- 「サイドブレーキ」「GPSアンテナ」「スモールランプ」「リバース」「スピード」「ACC電圧」を確認する。
- パルスリセット** にタッチして、「車速パルス」をリセットする。同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」もリセットする。
- 現在地画面を表示させ、平均時速 20 km以上で見通しの良い場所をしばらく(60分程度) 走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」を確認する。

サイドブレーキ	サイドブレーキを引くとON表示に変わりますか？
GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
スモールランプ	車のライトスイッチをONにすると、ON表示に変わりますか？
リバース	シフトレバーをR (リバース) に入れると、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	12V (11~16V) になっていますか？
車速パルス※	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？ (レベル3が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3Dセンサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

● **拡張ユニット情報** を確認する。



SDメモリーカード	SDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット※1	別売のVICSビーコンユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット※2	別売のETC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
デジタルチューナー※3	別売のデジタルチューナーを接続している場合、ON表示になっていますか？

※1 CY-TBX55D

※2 CY-ET805D/CY-ET900D/CY-ET900KD

※3 TU-DTV100

### お知らせ

- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
  - 別の車に本機を載せかえた
  - 違うタイヤに交換した
  - タイヤをローテーションした
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。